

## 第13回佐久市医療体制等連絡懇話会 会議録

日 時：平成30年1月29日（月）午後7時より

場 所：佐久市役所 8階 大会議室

### 参加者

一般社団法人 佐久医師会 会長 小松 正彦  
一般社団法人 佐久医師会 副会長 岡田 稔  
長野県 健康福祉部医療推進課企画幹兼課長補佐 柳沢 由里  
長野県 佐久保健福祉事務所 所長 小林 良清  
長野県厚生農業協同組合連合会 代表理事専務理事 牧島 保昌  
長野県厚生農業協同組合連合会 企画管理部長 黒沢 英明  
長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院 統括院長兼再構築推進本部長 伊澤 敏  
長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院 統括事務長 木次 重仁  
長野県厚生農業協同組合連合会佐久医療センター 院長 渡辺 仁  
長野県厚生農業協同組合連合会佐久医療センター 事務長 小林 睦志  
佐久市立国保浅間総合病院 病院事業管理者 院長 村島 隆太郎  
佐久市立国保浅間総合病院 地域医療部 部長 仲 元司  
佐久市立国保浅間総合病院 救急医療部 部長 角田 俊治  
佐久市立国保浅間総合病院 事務長 小林 一好  
学識経験者（規約第5条（4））くろさわ病院 理事長 黒澤 一也  
佐久市 副市長 小池 茂見

### 事務局

佐久市 市民健康部 部長 小林 聖  
佐久市 市民健康部 健康づくり推進課 課長 佐々木 和弘  
佐久市 市民健康部 健康づくり推進課 保健医療政策係 係長 渡辺 孝治

—会議録—

事務局 佐久市 市民健康部 小林部長	本日は、公私ともに大変お忙しいところ、またお寒い中、懇話会にご出席をいただきまして、大変ありがとうございます。
	私は、佐久市役所市民健康部長の小林聖と申します。議事に入るまでの間、私が進行いたしますので、よろしくお願いいたします。
	これより第 13 回佐久市医療体制等連絡懇話会を開催させていただきます。
	お手元の会議次第に沿って進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
	次第の 2、会長あいさつを小松正彦佐久医師会長様よりお願いいたします。
会長	本日は、大変お忙しい中をご出席頂きまして、心より感謝申し上げます。
小松会長	当懇話会は、佐久総合病院再構築により変化する医療体制のもとで、佐久医療センターが地域医療支援病院としての役割を果たし、この地域において安定的で良質な医療提供が行われるように関係者が一堂に会し、医療連携協議などを行う場として位置付けているところでございます。
	こうした中、佐久医療センターにつきましては、開業、間もなく丸 4 年が経過しますが、この間、病診・病病連携など関係する皆様のご尽力により、地域医療支援病院としての、急性期医療、高度専門医療を担う医療機関としての役割を果たしていただいておりますことから、当懇話会の所期の目的は、一定程度、達成されたものと考えているところでございます。
	そこで、本日は、佐久総合病院再構築について改めて現状のご報告を頂き、懇話会の目的の達成状況をご確認いただくことで、当懇話会としては、一旦、区切りを付けさせていただきたいと考えております。
	また、その上で今後の懇話会の在り方につきましては、事前に皆さま方から頂いたご意見をもとに、方向付けをしてみたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
	なお、本日の懇話会には、規約第 5（4）の規定により識見者として、くろさわ病院理事長の黒澤先生、佐久医療センターの小林事務長様にご参加を頂きましたので、ご承知おきください。
	最後に、皆様には「佐久市医療体制等連絡懇話会」に絶大なるご理解とご協力を賜りましたことにお礼申し上げます。
	今後とも佐久市の医療連携の充実と、地域医療の一層の安定化にお力添えを賜りますようお願い申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。
	ありがとうございます。
小林部長	続きまして、次第にはございませんが、委員さんが所属されています組織の

小林部長	<p>人事異動によりまして、本日の懇話会に初めてご出席をいただいております、委員さんのご紹介を申し上げます。大変恐縮ではございますが、私がお名前を申し上げますので、その場でご起立をお願いいたします。</p> <p>長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院本院統括事務長 木次重仁様です。</p>
佐久総合病院本院 木次事務長	<p>4月より統括事務長を拝命いたしました木次重仁です。よろしくお願いいたします。</p>
小林部長	<p>続きまして、本会規約第5条第4項の「会長の求めに応じ、ご意見をいただくため」ご出席をいただいております方をご紹介いたします。</p> <p>始めに、くろさわ病院 理事長 黒澤一也様です。</p>
くろさわ病院 黒澤理事長	<p>よろしくお願いいたします。</p>
小林部長	<p>続きまして、長野県厚生農業協同組合連合会 佐久医療センター事務長 小林睦氏様です。</p>
佐久医療センター 小林事務長	<p>よろしくお願いいたします。</p>
小林部長	<p>続きまして、お手元に配布をさせて頂いた資料の確認をさせていただきます。</p> <p>「会議次第」「参加者名簿」「席次表」そして、資料1「佐久医療センターの地域医療支援病院承認後の状況と課題について」、資料2「佐久総合病院本院の状況と工事の現状について」、資料3「佐久市医療体制等連絡懇話会の今後の役割について」です。以上6種類ですのご確認ください。</p> <p>これより議事に移らせていただきます。</p> <p>議事の進行にあたりましては、規約第5第2項によりまして「議長は会長があたり」となっております。小松会長様、よろしくお願いいたします。</p>
小松会長	<p>規約により議長を務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>議事、(1)の会議録署名人の指名でございます。規約第3、(組織)にあります、各号の若い順から、それぞれ1名ずつ、2名を議長の私の方から指名させていただきますが、よろしいでしょうか。</p>
各会員	<p>異議なし。</p>

小松会長	<p>ご意見ございませんので、ご了承を頂いたものといたします。</p> <p>本日の懇話会の会議録署名人を、長野県厚生農業協同組合連合会 代表理事 専務理事 牧島保昌様と、長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院本院 統括院長 伊澤敏様をお願い申し上げます。</p> <p>これより、議案に移ります。</p> <p>議案ア「佐久医療センターの地域医療支援病院承認後の状況と課題について」、佐久総合病院からご説明をお願い申し上げます。</p>
佐久医療センター 小林事務長	<p>お手元の「資料1」につきまして、ご説明を申し上げます。</p> <p>内容的には佐久医療センターの外来の関係、入院の関係、そして地域別の患者数等の資料をお示ししています。また、地域医療支援病院に係る業務報告の資料がございますので、よろしくお願いたします。</p> <p>1枚目は外来です。ここ3か年の平成27年度、28年度、そして今年度につきまして、9月の上半期までを月別に折れ線グラフで示しています。27年度が青、28年度が赤、今年度は緑となっています。1年目、2年目、3年目、そして今年は4年目という事で、全体的に数字は上がってきています。外来収入の月の収入は大体4億前後で推移しています。直近の12月は外来者数が多かった事もあり、3億8,900万円の収入となっています。外来単価は2万2,000円を前後するくらいです。同じく12月につきましては2万1,218円です。下段の外来者数は年々数が増えています。12月の直近は延べ1万8,379人です。それぞれの月で割り返しますと1日平均が出ています。同じく12月の平均患者数は835人で推移してきています。</p> <p>次に、入院ですが、同じ表の作りになっています。収入は10億円を前後しています。同じく12月は10億7,400万円ほどの収入になっています。単価も年々上がっています。月によっては8万円を超えるところが散見されるようになりました。12月の平均単価は8万2,727円でした。延べ患者数は1万1000から1万3,000人です。12月は1万2,984人と非常に患者数多くて、ベッドもひっ迫していたような状況です。新入院は1,100から1,200人です。12月は1,152人でした。</p> <p>次に、平均滞在日数ですが、色々努力していますが、今年は10.5日を目安に進めています。特に12月は10日とちょっとです。手術件数ですが、手術も毎年、毎月伸びていますが、12月は468件した。救急車の搬送は、200から300件で、今年も伸びている状況です。12月も315件を受け入れしました。</p> <p>続きまして、地域別の患者数の動向をお示ししています。平成27年度、28年度、そして29年度の上半期です。佐久広域、上田広域、県内、県外でグラフをお示しました。それぞれを積み上げた棒グラフになっています。3、4</p>

<p>佐久医療センター 小林事務長</p>	<p>年間の中で大きな地域別の変化はない事が読み取れます。特に上段の外来は佐久広域全体で、ここ3、4年は大体72%くらいの患者数です。平成29年度の上半期平均累計の、1日の患者数は760人です。下段の入院は、ここ4年間の地域別の大きな変化はないと感じています。同じく佐久広域全体では、大体70%になります。平成29年度の上半期の平均在院日数は10.4日、病床の利用率は85.7%という状況でした。</p> <p>続きまして、平成29年度地域医療支援病院に関わる主な業務報告です。佐久医療センターにつきましては、開院した平成26年度の実績を持ちまして、翌平成27年の6月に県知事から承認をいただきました。内容は四半期毎に地域医療支援病院の運営委員会を開催し、それと同じものをお出ししています。青い部分の項目がありますが、紹介率及び逆紹介率、救急医療提供の実績、医療機器等の共同利用の体制、地域医療従事者に研修会をどれくらいしたか。諸記録の閲覧の数、委員会開催実績、その他の患者相談数の実績をそれぞれ数字で示しています。</p> <p>上段の紹介率、逆紹介率ですが、四半期後の直近では、紹介率が7から9月の第2四半期で74.3%です。逆紹介率は89.8%で、それぞれ基準値をクリアしています。</p> <p>それぞれの項目毎に救急の数がどうであったのか、救急の総数等の実績をご覧いただければと思います。</p> <p>共同利用の体制は次ページ以降に、別添でCT、MRI等の機器別、月別の共同利用数をお示ししています。</p> <p>次ページには、医療従事者の研修の研修内容と数をお示ししてあります。</p> <p>最後のページには窓口相談でどんな相談を受けたのか、詳細に記載してあります。</p> <p>以上、雑ぱくではございますが、佐久医療センターの近況についてご報告させていただきます。</p>
<p>小松会長</p>	<p>ありがとうございました。ただ今の、ご説明について何かご意見、ご質問はございますか。</p> <p>無いようでしたら、佐久総合病院本院の再構築に移りますが、また終了したところで、ご質問をいただいても結構ですので、佐久医療センターの状況報告についてはよろしいでしょうか。</p> <p>続きまして、議案イ 佐久総合病院本院の状況と工事の現状につきまして、佐久総合病院からご説明をお願いいたします。</p>

佐久総合病院  
木次統括事務長

本院の説明をさせていただきます。

資料2になります。本院の外来の数字をお示ししてあります。外来収入は9月の時点で2億4,795万円、月平均は約2億5,000万円で推移をしており、ほぼ前年並みです。12月は2億7,100万円と9月より多い収入となって、前年に比べて増えている状況です。外来単価は1万2,400円前後で推移をしていますが、12月は1万2,500円で、今年度では一番高くなっています。外来延べ患者数では9月は2万30人ですが、12月は2万1,709人で年間では一番多い患者数で推移をしています。1日平均外来患者数では、9月は954人で、12月は986人という状況です。

次に、入院数です。入院収入ですが、9月の累計平均で2億4,800万円でした。前年に対して1.2%ほど増えています。12月も2億5,300万円で増えている状況です。それに伴いまして、入院単価は3万5,000円前後で推移をしまして、前年からは大きく伸びています。12月も3万5,000円の入院単価となっています。延べ患者数では9月で6,941人でしたが、12月は7,243人で、伸びている傾向です。新入院患者数も伸びていまして、9月の時点で292人です。前年と比べますと新病棟の一般病床数が3床増えたので、大変大きく伸びている状況です。

次に、本院の平均の在院日数ですが、9月は16.7日です、今年度の9月までの平均は16.8日で、16日前後を保っている状況です。手術件数は9月までの平均で月120件という状況で、12月も117件でほぼ平均的に推移をしています。救急車につきましては、前年と比べると若干減っていますが、センターの受け入れも上がってきている状況でこのような数字となっています。

次に、地域別の患者数になります。平成29年度の上半期ですが、外来は佐久市が61.6%です。佐久医療圏で89.3%という状況です。前年とほぼ同数です。入院は佐久市が68.9%、佐久広域が93.6%です。こちらもご覧の通り前年とほぼ変わりはありません。

続きまして、工事の状況に入ります。一番左に①エネルギー棟新築工事とありますが、色分けされたものになりますが、下の図面と対応しています。現在の状況は一番左側の項目の中の⑥解体工事で、西病棟の解体工事が進んでいます。ほぼ予定通りの工程で進んでいます。解体工事につきましては、内装の解体が進みまして、表の玄関側から見ていただきますと、養生がされた状態であまり進んでいないように見えますが、北側の面から壊し始めていまして、重機が入って壊し始めているところです。順調に進んでいまして、出来高は9月の時点で82.2%、12月の時点で83.8%となっていて、計画通りに進んでいます。下の図面の下の段の左から2番目の⑥解体工事の青い網掛けがしてありますが、西病棟を解体していまして、その後解体が済みましたら⑦の仮設渡り廊下

<p>佐久総合病院 木次統括事務長</p>	<p>Cの青い色の仮設の渡り廊下を造りまして、新棟と今の外来棟を結ぶ工事に入ります。その後⑧のオレンジ色の渡り廊下の工事に8月中旬以降に入っております。この渡り廊下は最終形の渡り廊下になります。そして、⑨外構工事となり、緑色の部分が外構工事の範囲になります。ここに駐車場の工事が進んでまいりまして、今の立体駐車場まで含めた全体で、約360台の駐車場が整備される予定です。工事の進捗状況については以上です。</p>
<p>小松会長</p>	<p>ありがとうございました。本院の状況と工事の現状につきまして、ご説明いただきましたが、何かご意見やご質問等がございましたら、お願いします。 無いようでしたら、佐久医療センターの渡辺先生と本院の伊澤先生から一言ずつ現状について、コメントをお願いします。</p>
<p>佐久医療センター 渡辺院長</p>	<p>佐久医療センターの渡辺です。 小林事務長から話がありましたように、4年がほぼ経過しまして、徐々に佐久医療センターの形が出来てきたと思っています。当初は、救急の受け入れがなかなか難しいところがありましたが、現時点では、不応需率も徐々に下がっていますし「受けられる救急は、受けていきましょう」とさせていただいています。専門医療につきましても、徐々に体制が整ってまいりまして、手術件数も伸びている状況です。 また、連携という事では、平均在院日数は12月で10日という事ですが、クリニカルパスとか、そういうところも見直しながら、あるいはご紹介の手術であれば、当日入院させるとかした、平均在院日数を少しずつ少なくしてまいりまして、そういう形を取っているのは、実際には退院できることもありますが、転院される病院にも非常にご協力をいただきながらやっております、地域の方のご協力により成り立っていると思っています。 なお一層、地域医療支援病院として機能を充実させていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>
<p>小松会長</p>	<p>ありがとうございました。引き続きまして、伊澤先生お願いします。</p>
<p>佐久総合病院 伊澤統括院長</p>	<p>佐久市民の皆さん、各協議会の皆さんにご理解いただきまして、分割再構築が進んでまいりますが、地域の医療機関との連携が格段に良くなっていると感じています。おかげさまで、こういう形で患者さんの受け入れや経営状況が推移しています。残るは、本院の解体工事という事ですが、解体工事や外構工事が来年の3月で終了します。本院も地域の医療機関と連携を取りながら、地域の患者さんのためになる再構築を実現してまいりたいと考えております。</p>

小松会長	<p>ありがとうございました。その他、ご出席の皆様から、佐久医療センター並びに本院に関しまして、ご意見、ご質問等はございませんか。</p>
佐久保健福祉事務所 小林所長	<p>過日、新聞等でも報道されましたが、専門医の研修先が都道府県別の数字として出ていたのですが、現在、佐久病院グループになるかと思いますが、専門医の人数の見通しと、合わせて初期研修につきましても、来年度のマッチングも済んでいるかと思いますが、その辺りを教えていただければと思います。</p>
佐久総合病院 伊澤統括院長	<p>先ほど、初期研修というお話もありましたが、本年度から枠が14名になりまして、フルマッチでした。来年度は16名の初期臨床研修医が来ることになっています。「国家試験に落ちた」「卒業が出来ない」などがなければ、16名の予定となっております。昨年6月から8月までかけて、試験をやっていますが、定員の約2倍の学生が応募してきていて、その中から選んだという形です。専門医の方も専門コースの採用者ですが、渡辺先生からお答えします。</p>
佐久医療センター 渡辺院長	<p>佐久医療センターは、基幹施設として外科が3人、本院の総合診療科が3人、救命救急センターが2人という事ですが、残念ながら内科の応募がなく、大学の関係とか、専門医制度そのものに問題があるのかと思っておりますが、引き続き、初期研修が終わって、専門医の研修を受けたいというところで、内容的に色々工夫をしていこうかと思っております。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。その他はいかがでしょうか。 無いようでしたら、次に移らせていただきます。 議案ウ、佐久市医療体制等連絡懇話会の今後の役割について、事務局より説明を申し上げます。</p>
事務局 健康づくり推進課 佐々木課長	<p>佐久市医療体制等連絡懇話会の今後の役割についてご説明を申し上げます。 資料3をご覧ください。当懇話会は先ほど小松会長のごあいさつで触れていただきましたが、佐久総合病院再構築に伴い変化する佐久市内の医療提供体制を安定的なものとする中で、関係者が一堂に会して医療連携協議を行う事で位置づけさせていただいております。また、再構築については、当初より長野県の皆様、保健福祉事務所の皆様にもご協力をいただいて、ここまでご協議をいただけてきました。 こうした中で、会員の皆様から今後の在り方について、意見聴取をさせていただきました。その内容について事務局でまとめた上で、懇話会の幹事会で内容について協議をいただき、今後の方向性をご提案いただきました。</p>



佐々木課長

始めに、設問1の「懇話会を承継する新たな会の設置目的の可否」ですが、大きな柱として、これまで協議してきました「佐久医療センターの地域医療支援病院として機能するために必要な医療連携等の検証」は、多くの皆様から終了するとのことご意見から、終了と結論付けさせていただきます。

また、合わせまして、「本院の運営基本計画に対する検証及び提言」についても終了させていただきます。一方で、「地域完結型医療体制の構築のために必要な医療連携協議」は継続、また、「地域完結型医療体制の構築のために必要な情報交換と情報発信」は継続させていただきます。

さらに「佐久市の医療機関同士の病病連携、病診連携の課題に対する意見交換」を新たな役割として設置させていただければと考えております。

次に、意見集約の記述での自由なご意見もご紹介申し上げます。

一つは「佐久総合病院再構築に係る医療体制等の協定書の内容は、現在佐久医療センターの開業から4年が経過し、地域医療支援病院運営審議会の中で協議されている事で、目的は達成されているのではないか」というご意見です。

もう一つは「佐久地域全体として保健福祉事務所が事務局を担当している佐久圏域医療対策協議会が定期的開催され、佐久地域の医療体制について協議し、必要な施策を講じていることから、懇話会は区切りをつけて廃止してもいいのではないか」というご意見です。

また、一方で「継続する場合の目的は、佐久市内の医療提供体制のあり方について意見交換を行う、あくまで佐久市内での医療提供体制という事で考えたらどうか」というご意見です。

また、「特に浅間総合病院のあり方も大きなテーマにしてはどうか」というご意見もいただきました。こうした状況も踏まえて、幹事会の意見として、新たな会議体を設置する方向付けの中での設置目的としては、「佐久市の地域医療提供体制の構築するために必要な事業や、佐久市の医療機関同士の病病連携、病診連携の現状及び、佐久地域の医療提供体制等に対する情報交換や発信」について協議する。

また、佐久市が実施する保健医療施策について、双方の課題等の情報共有を図る中で、「健康長寿都市佐久市の推進に向け、連携した取り組みを進める」という目的を考えたいうえのご提案を申し上げます。

次に、設問3、新会を構成するメンバーですが、本会の会員を変更しないという意見が多くございましたが、事務局案は「佐久市内や佐久地域の医療提供体制のあり方を地元で情報交換して連携を図る中で、佐久市と医療関係者とする」としました。冒頭で申し上げた通り、本懇話会は、「佐久総合病院の再構築に伴う医療提供体制のあり方」という中で、当初より長野県や佐久保健福祉事務所の皆様、そして、長野県厚生連の皆様にご参加をいただいたところでご

<p>佐々木課長</p>	<p>ございますが、再構築も一つの到着点を迎えたので、今後においては、佐久医師会、佐久総合病院本院、佐久総合病院佐久医療センター、浅間総合病院、佐久市の5団体を構成メンバーとさせていただきたいと考えております。ただし、今後、議題等で会長が必要と認めた場合の関係者には、随時参加いただくように考えております。</p> <p>設問4は「新会の幹事会等に準ずる組織をどうするか」という事ですが、今後は幹事会を設置せずに、本会のみという形を考えていきたいと思っております。</p> <p>また、設問5の「新会の公開、非公開」ですが、原則は公開とし、その必要がないと会長が認めた場合は周知をしないと、考えております。</p> <p>次に、設問6ですが、新会の設置を平成29年度内とした場合の設置期間のご意見をいただきました。事務局としては、「特に設置期間は設けず、会員の協議により終了する事ができる」と定めたいと思っております。</p> <p>また、開催の回数ですが、こちらについても特に設けず、「会長が必要と認めた場合、議題が発生した場合に、随時開催できる」という形で考えていきたいと思っております。</p> <p>また、その他の意見ですが、佐久地域の医療体制につきましては、佐久保健福祉事務所さんが主催いたします佐久圏域医療対策協議会で検討いただくので、本会は佐久市内の医療連携体制の意見交換、情報交換という事で、取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>小松会長</p>	<p>ありがとうございました。この意見につきまして、ご質問、ご意見等はございませんか。</p> <p>今回で、このメンバーでの会合が一区切りとなりますことから、今の事務局の説明や、この協議会のあり方について、ご指名させていただきますのでコメントをいただきたいと思っております。</p> <p>職見者としてご出席をいただきました、くろさわ病院の黒澤先生いかがでしょうか。</p>
<p>くろさわ病院 黒澤理事長</p>	<p>佐久圏域医療対策協議会との違いを明確にしないと、同じような会議が2つ出来てしまうと思っております。佐久圏域は小諸、南佐久、北佐久とみんな入ってきますが、佐久市と限定するのであれば、それはそれで良いと思っております。</p> <p>構成メンバーの事務局案ですと、佐久医師会、佐久総合病院本院、佐久医療センター、浅間総合病院、佐久市となると、会長が指名した人は参加できるとはなっていますが、我々のような小病院が抜けているので、それをどう考えているのかという事です。我々は佐久平地域病院連絡会、ここに載っている病院以外の佐久医師会の6病院で年2回、会を開いていまして、そこの代表者、も</p>

黒澤理事長	しくは、小病院も参加させていただけるのかどうかをお聞きしたいと思います。
小松会長	ありがとうございます。今のご質問について、事務局はどうでしょうか。
佐々木課長	中小病院の佐久平地域病院連絡会については承知していますが、一旦は佐久医師会の組織の一つとして考えていきたいと思っています。但し、議題の中で、中小病院の皆さんに多くのところで係わっていただくケースが考えられる中では、その都度ご参画いただく事も想定しています。
小松会長	小林所長さま、佐久圏域医療対策協議会との違いについてはどうでしょうか。
佐久保健福祉事務所 小林所長	佐久圏域医療対策協議会は最近では、地域医療構想の調整会議や救急の事など、具体的な医療に関するテーマがあります。現在は、3医師会、病院、消防、市町村、そして保険者の住民代表などが状況によって入っているのですが、佐久市の中でこういう形で連携を取っていくのであれば、黒澤先生がおっしゃったように、一つの意義があるかもしれませんが、正直なところ医療は市だけに留まらない部分があるので、その辺りの話題が重複することは出て来るのかと思います。それを整理するのか、せずに、佐久市に関係する皆さんの情報交換や意見交換をしながら、圏域の協議会に正式に何かしらの提案やご意見をいただくという形でも住み分けは出来るのかと思っています。
小松会長	事務局としてはどうでしょうか。
佐々木課長	もう少し資料の説明をさせていただきます。資料3-3 今後の方向性というところで、今回はこのような形でやっていきたいという事で、ご提案を申し上げたいと思います。 これは新たな組織体の規約案です。資料3-2、3-3を見ながらご説明申し上げます。
	本懇話会の名称ですが、「佐久市保健・医療等連携会議」と仮称させていただきます。目的は資料3-3の新旧対照表をご覧ください。まず、目的第2条 旧の1「佐久総合病院再構築に係る医療体制等協定書において、懇話会の役割として記載された事項」については削除した上で、新では「(1) 佐久市の保健・医療等提供体制の構築に関する事項」「(2) 佐久市の医療機関同士の病病連携、病診連携に関する事項」「(3) 佐久地域で相互に連携してつ

佐々木課長	<p>くりあげてきた住民に対する保健・医療等提供体制の情報交換や情報発信に関する事項」「(4) 佐久市の保健、医療施策の課題等の情報共有に関する事項」「(5) 健康長寿都市『佐久市』の推進と連携に関する事項」と掲げさせていただいております。あくまで、佐久市における保健・医療の課題を考えておりまして、行政からの提案、あるいは医療関係者の皆様からいただいたご提案を元に、市の保健・医療行政を推進していきたいという事で、今回の位置づけをさせていただきました。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。新旧対照表に色々書いてありますので、ご覧ください。</p> <p>佐久平の地域病院の先生方の中にも、議題に上がるようなことは、ご出席いただくようになります。</p> <p>浅間総合病院の先生方にもお聞きしたいと思います。この会のこれからの運営等につきまして、ご意見、ご感想をお持ちでしょうか。</p> <p>仲先生いかがでしょうか。</p>
浅間総合病院 仲地域医療部長	<p>佐久圏域の会議がどういう形になっているかは存じ上げませんが、佐久市という形でみるのに、佐久医療センターの場合は佐久広域が70%で、本院は90%近いわけですが、佐久市以外もあるので、我々もそうなのですが、対象としている患者さんや住民の方は、もう少し広い範囲となります。これは佐久市が考えられた議案なので、佐久市のという形と、健康長寿都市「佐久市」を推進しているのを絡めて、こういう形になったのだらうと思ったのですが、実質上は、ここだけで協議する事項はどういうものがあるのかと思いました。</p> <p>後、糖尿病での連携も10年以上前からやってきて、それなりに色々なレベルでの連携が出来ていると思っています。対象とする疾病や整形外科などの科別の連携はすごく意味がある事だと。同じような患者さんを対象としているので、たとえば、眼科の先生と耳鼻科の先生と、脳外科の先生が協議をするのはなかなか難しいところがあるので、連携は疾病などで連携していくのが有意義だと思います。そういう事を考えると、佐久市だけで、しかも、漠然と病院と病院、あるいは医師会と連携を探るのは良い事だと思うのですが、色々なレベルの会議があるので、この会の存在意義が、先ほどから聞いていると、どうなのかなと思います。具体的にどういう事が議題になるのかが、少し私としては、ピンと来ませんでした。</p>
小松会長	<p>事務局としてはどうでしょうか。</p>

佐々木課長	<p>色々と想定されますが、1つは市が実施している「急病診療センター」の状況など、行政としてやるべき事は、地域住民に対して医療の情勢について周知を図っていきながら、地域医療を守っていく事について、先生方のご意見をいただきながら取り組んでまいりたいと考えています。</p> <p>また、保健に関する課題も、予防接種や先ほどの糖尿病の取組ですとか、今後発生する成人病に対する予防の取り組みなど、私どもの保健行政を行っていく上では、医療関係者の皆様のご協力とご意見を聞きながら実施していく必要がありますので、そういった事をご協議いただく会議体を想定しています。</p>
小松会長	次に、角田先生お願いします。
浅間総合病院 角田救急医療部長	<p>救急医療部長として今回、初めて参加させていただきました。</p> <p>今までの経緯が分からないので、今後の会のあり方という事ですが、救急医としてやらせていただいています、実際には救急の専従の医師はいませんので、各科の先生方が1次救急と2次救急を手分けしてやっている状況です。平日夜間の救急診療と日曜日の祝日は、小児科診療を佐久医師会の先生に手伝っていただいています、それでも、勤務医の負担が増えている中で、さらには佐久平の駅周辺は人口が増えている、浅間総合病院は救急医療のケースは増加傾向にあります、受け入れられる数は限界が来ていて、お断りするケースも出てきています。その辺が問題なのかと思います。2次救急に病院側が集中出来て、1次救急の診療業務は考えていきたいと思っていて、救急医療の話合いの中で、この会を市として行っていただいて、今後の医療体制のあり方や市民の方々にどういう形で周知するか連携が探れば良いなと思っています。そういう方向で考えていただければ有難いなと思っています。</p>
小松会長	ありがとうございます。村島先生、お願いします。
浅間総合病院 病院事業管理者 村島院長	<p>私は、佐久市医療体制等連絡懇話会に初期の時期から参加している人間として、その当時の委員の佐久市医師会の元会長や、他の先生方たちが色々と心配されていた事は、ここでの約束事が、その後、ちゃんと履行されたのかどうかを心配されていた事でもあります。確かに、「佐久病院の再構築が終わってしまえばもういいじゃないか」という話があるのですが、その後、ある程度しっかり、約束が履行されたかどうかを見守るところがないといけないと、初期のころから参加しているメンバーとしての意見が一つ。</p> <p>それから、佐久圏域医療対策協議会ですが、地域医療構想調整会議なども私も出ていますが、非常に広域の多人数の方が参加している状況の中で、佐久市</p>

村島院長	<p>に特化したものではなく、色々な所の様々な意見を、そこで議論しなければいけない状況があります。そこにプラス、県から地域の伝えたい事が最初にあります。それを参加メンバーが理解して、その中で自分たちの立ち位置を説明する。浅間総合病院のあり方に対しても。佐久圏域医療対策協議会などで、当病院だけでなく、各病院がその中で、「自分たちはこうやっていきたい」という話を前回しました。</p> <p>しかし、佐久市医療体制等連絡懇話会は、形を変えて佐久市の中で、もちろん大きな病院だけでなく、他の病院にも参加して頂いて、各病院の現場のドクターたちの意見を言えるような場を。佐久圏域医療対策協議会より少し地域が狭くなりますが、色々な意見が聞ける場があった方が良いのではないかと思います。</p> <p>それから、「佐久市保健・医療等連携会議」という事で、佐久市から提案がありました。その健康長寿都市「佐久市」の推進に向けて、色々なアイデアが出てはいるのですが、それを、各病院が勝手にやっているのではなくて、いくつかの病院で連携していく事が出来れば、それは意義のある事だと思います。私としては、この会は、形を変えてもいいので、続けていった方が良いのではないかという意見です。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。浅間総合病院の先生方にお聞きしましたが、事務局はどうでしょうか。</p>
佐々木課長	<p>先生におっしゃっていただいたように、健康長寿都市「佐久市」という事で、色々な事業に取り組んでいます。それぞれの医療環境の中でご努力をいただいている、個別の関係もございますが、是非、それを全体として供用して進めていくための処遇に関しても、佐久総合病院でやっていただいているものもございますし、自治体としてもやって行くこともございますので、市民の健康につながるものとして、連携していけるような場に出来れば良いと思っています。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。医師会の立場として岡田先生どうでしょうか。</p>
佐久医師会 副会長 岡田先生	<p>この会は、私も途中からの参加で、ほとんど佐久医療センターができる頃からの参加です。以前の事は村島先生がおっしゃって下さって、私はその辺の事は全然分かりませんが、先ほど、角田先生もおっしゃいましたが、救急医療の平日夜間の医師会の当番表を、私が今、組んでいます。医師会もかなり医師が高齢化してしまっていて、医師会の約束だと70歳で平日夜間、休日小児科と当番医は一応リタイアが可能となっています。あと、2、3年すると、かなりの</p>

小松会長	<p>先生がいなくなって、これから、当番医は何とかなると思うのですが、平日夜間などはどうやって回していこうかと思っています。この会でも前回の幹事会で、伊澤先生や渡辺先生にもお願いしている経緯もありますので、是非こういう場で、また相談させていただくためにも、この会を継続させていただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。県のお立場のお話は最後にお聞きしたいと思いますが、先に、厚生連グループのご意見を、佐久医療センターの事務長の小林さんから、一言ずつお願いします。</p>
佐久医療センター 小林事務長	<p>当初の話の中では、佐久医療センターが「どんな病院になるのか」の不安も含めて、色々な課題の調整会議というところもあったのかなと感じています。佐久医療センターも4年経ちまして、先ほども報告申し上げましたが、こういう状況になってきたというところでは、大方の皆さんがおっしゃる状況になったのではないかと思います。やはりここまで出来てきたのは、病院同士が集まるだけでなく、そこに行政が入っていただいて、行政の指導の下にやってきたのが非常に大きかったのではないかと評価しているところです。この場を無くしてしまうとか、発展的な解消も可能でしょうが、何かの懸案、事案について、また立ち上げる事となると、それはそれでまたエネルギーが必要になるだろうと考えております。形を変えても、こういう会を残していただければ、有難いと思っています。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。本院の木次事務長様、お願いします。</p>
佐久総合病院 木次統括事務長	<p>小林事務長の発言の通り、これまでの経過の中で、この会ができて運営されてきたということで、一定のところまでは達したというところですが、今度は、新しく「佐久市保健・医療等連携会議」で、「保健」も含まれるという事ですし、こういった会議の中での情報交換、また連携が一番重要だと思います。引き続き、提案の通り行っていく事が重要だと思います。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。厚生連の企画管理部長の黒沢さん、お願いします。</p>
厚生農業協同組合 連合会 黒沢企画管理部 長	<p>色々なご提案をいただいた事については、所期の目的は一定程度達成されたとうい考えのもとに、このような提案がされたものと理解をしています。両事務長の話のように、今後について、この会を解消してしまうという事ではなくて、連携を取っていく中で、事務局のご提案のように、こういう体制を継続さ</p>

黒沢企画管理部長	せながら、新たな取り組みと、意見交換の場を設けて、継続させていただくという、両事務長と同じ意見です。
小松会長	ありがとうございました。佐久医療センター院長の渡辺先生、お願いします。
佐久医療センター 渡辺院長	当初は佐久病院グループの再構築という事で、皆さんのご意見を伺いながら進めてきたところがありますが、実際にこれからの地域医療・包括ケアというような全体を見ていかなければいけない中で、医療もその中の一部であり、より細かな連携を話し合う機会が難しくなってきたという事もあります。もちろん佐久圏域医療対策協議会の中で、全体として話を進めていく事は出来ると思うのですが、医療機関同士で細かいところまでを含めると、少し本音も含めて話が出来る所は必要だと思います。そこに行政に係わる事も、1つの大切な役割があると思いますので、少し形を変える中で継続していただければと思います。
小松会長	ありがとうございました。伊澤先生、お願いします。
佐久総合病院 伊澤統括院長	懇話会の初期の目的を達したという事ですが、行政がこういう形で医療の状況を把握していただきながら、市のこれからの施策にも色々な形で反映されていくためには、情報交換の場は必要で、行政がしっかり係わっていただき、それぞれの医療機関がどういう状況にあって、それぞれの病気の診療科でどんな連携がされていて、どういう事が足りないのか。救急医療体制が問題になりそうですが、それを解決するためにはどうしたらいいのか、など、具体的に話す場としては、これ以上ない場だと思います。是非継続して、機能させながら、「世界最高健康都市」の実現に向けてしっかり具体的に議論して、下支えできるような会議体として機能できれば良いのではないかと思います。 同時に、他の会議体もありますので、役割を整理して、黒澤先生からのご提案もありました、メンバーをどうするのか、どういう方たちに入っていくのかについても、議論が必要ではないかと思います。
小松会長	ありがとうございます。最後に代表理事専務理事の牧島様、お願いします。
厚生農業協同組合 連合会 牧島代表理事専 務理事	厚生連のそれぞれの皆さん方が言うておりますので、繰り返しの事は申しませんが、いずれにしても、懇話会の目的であったことの認識からしますと、会員の方々の意見にもありましたように、目的が終わったから無くすというのは、乱暴なところがあるのかなと思います。事務局からの提案のように、佐久




<p>牧島代表理事専務 理事</p>	<p>の本院と医療センターの職務に応じながら、次に引き継ぐという形で是非お願いできたらと思います。</p>
<p>小松会長</p>	<p>ありがとうございました。浅間総合病院の小林事務長のご意見をお願いします。</p>
<p>浅間総合病院 小林事務長</p>	<p>市立病院でありますので、どうしても行政側の立場で色々お話をお聞きしましたが、行政側とすれば、こういう機会がいくつかあった方が、行政を進めていく上では、有難いという事でもありますので、事務局の提案の通り、進めさせていただければと考えています。</p>
<p>小松会長</p>	<p>ありがとうございました。副市長の小池様お願いします。</p>
<p>佐久市 小池副市長</p>	<p>この会も13回開催されまして、これまで運営されてきましたのも会長のリーダーシップによるもので、これからを考えた時に、圏域全体となりますと、市としての係わりが、かなり限定的になって来るといような気はします。その部分については、県の機関の皆さんにお譲りしなければならない事だと思います。私ども行政とすれば、保健や医療をどういう風に運営していくのが、本来の業務としてあるわけですから、その時に皆さん方のご意見をお聞きするという場面はなかなかございませんので、この懇話会に並ぶ連携会議というものを引き続き医師会の皆さまにもご協力を頂戴しながら、続けていただければと思います。</p>
<p>小松会長</p>	<p>ありがとうございました。小林所長様お願いします。</p>
<p>佐久保健福祉事務所 小林所長</p>	<p>私は、前に佐久に赴任していた時に、佐久総合病院の再構築がどうなるかというところから係わり始めたので、この懇話会についても、非常に感慨深いものがあります。</p> <p>一つの区切りを迎えたという事は、おそらく、全体の異論は無いと思いますので、この会についても、区切りをつけるのが、私の考えではありますが、もし継続をするとしても、長野市から、この会のために遠いところをおいでいただき、厚生連の本所、県の健康福祉部については、さすがに継続して欲しいというのは大変かと思って、提案にも書いたのですが、今回、市の提案で私の立場も外れておりますので、それは意外でした。</p> <p>行政としては市だけでお考えであれば、良いと思いますが、一つ私の立場で懸念しているのは、佐久市が市町村の一つとして、保健、医療について責任を</p>

<p>佐久保健福祉事務所 小林所長</p>	<p>もってやっていかれるという考え方や姿勢については、もちろん敬意を表しますが、片方で何人かの先生方にもありましたように、この佐久市内の医療機関や医師会の対応というのは、佐久市に留まらずに、当然、広域への影響があるわけです。</p> <p>このように新たな形でディスカッションしたいというのは、大いに結構なのですが、佐久市だけが、あるいは佐久市の地域だけが医療が先行し、地域全体とは別の形で進んでいく事だけは、くれぐれも慎重に進めていただければと思います。</p> <p>そういう意味では、私のような立場の者が、引き続き、入っていた方がいいのかどうかは分かりませんが、むしろ入っていない方が、市の中で、ざっくばらんにできるという考え方もありますので、それは、どちらでも結構です。是非、「大佐久市」であるという認識をいただいて、佐久市に留まらない観点で、色々な対応を考えていただきたいというのが、私の立場からのお願いになりますので、その点を、是非、考慮して頂ければと思います。</p>
<p>小松会長</p>	<p>ありがとうございました。その件に関して、事務局はどうでしょうか。</p>
<p>佐々木課長</p>	<p>私も佐久圏域医療対策協議会に、佐久市の代表として参加させていただいております。本懇話会から新しくできる会議体の内容等は、佐久圏域医療対策協議会に様々な情報提供ができるような形も取りたいと思っています。</p> <p>また必要に応じて、可能であれば、佐久保健福祉事務所長さんにも色々なケースでご相談させていただきながら、会議体を運営していければと考えています。</p>
<p>小松会長</p>	<p>ありがとうございました。佐久医療センターの設立の頃から本院の再構築まで、県のお立場で、色々ご協力をいただいた、健康福祉部の柳沢様から、最後にお願ひします。</p>
<p>長野県 健康福祉部 医療推進課 柳沢企画幹兼 課長補佐</p>	<p>私は、去年と今年の2回続けて参加させていただきましたが、地域医療支援病院としての佐久医療センターの役割は十分確認できました。今後は、小林保健福祉事務所長が言ったように、佐久広域に関しては佐久保健福祉事務所が、県全体に関しては長野県が、役割分担をする中で、市と市内の医療機関さんのよりきめ細やかな情報交換や具体的な連携など、色々な事で、皆さんのご意見がありました通り、継続する事で、私としては、事務局案に賛同します。佐久市と佐久保健福祉事務所とが必要に応じて、意見交換しながら、進めていただければと思います。</p>

小松会長	<p>ありがとうございました。皆様、よろしいでしょうか。何かご意見はございますか。</p> <p>ここで皆さんにお諮り申し上げたいと思います。</p> <p>「佐久市医療体制等連絡懇話会」の今後のあり方につきまして、事務局案の通り、本会を承継する、仮称「佐久市保健・医療等連携会議」を新たな組織として発足させることにご異議はございますか。</p>
各委員	異議なし
小松会長	<p>ありがとうございました。ご異議なしと認めます。</p> <p>資料3-2の「(仮称)佐久市保健・医療等連携会議 規約(案)」の仮称と案の削除をお願いします。</p> <p>つきましては「佐久市医療体制等連絡懇話会」は今回を持って散会とし、新たに「佐久市保健・医療等連携会議」により、協議事項は以後、継続することに決しました。</p> <p>ご意見を伺いましたが、他にこの会議についてのご意見はございませんでしょうか。</p> <p>この「佐久市医療体制等連絡懇話会」は、会員の皆さんを始め、多くの皆様のご協力なくしては、成功し得なかったものと考えております。これも偏に佐久総合病院再構築という一つの大きな目的に向かって、皆さんが心ひとつに取り組まれた成果だと考えております。今後「佐久市保健・医療等連携会議」が本会を承継し、佐久市の保健・医療体制等が一層充実する活発なご協議が行われますことを希望します。</p> <p>次に、議案 エ、その他につきまして、事務局からお願いします。</p>
佐々木課長	<p>皆様にご協議いただきました「佐久市医療体制等連絡懇話会」につきましては、今回を持ちまして、散会させていただきます。なお、本会を承継いたします、「佐久市保健・医療等連携会議」の規約に基づきまして、来年度に開催の計画をさせていただきますと思います。ただし、規約についてはご承認をいただいたところでございますが、医療関係者の方々等のメンバーに関しましては、幹事会等で、検討させていただければと思います。</p> <p>今回の会議録につきましては、編集ができしだい、会議録署名人の方に送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。本日本日予定されておりました、議題は終了いたしました。</p>

小松会長	皆様のご協力に感謝申し上げます。また、本懇話会にご尽力いただきました、すべての会員の皆様へお礼を申し上げまして、議長の任を解かしていただきます。ありがとうございました。
小林部長	小松会長様ありがとうございました。本日も出席をいただきました皆様には、大変貴重なお時間を裂いて、ご出席いただきましたこと、また、大変貴重なご意見をいただき、心から感謝を申し上げるしだいでございます。
佐久保健福祉事務所 小林所長	<p>先ほどの懇話会のあり方について、今後の方向性が出されて、区切りがつかれましたが、私自身、先ほど申し上げた通り、個人的に感慨深いものがあるのですが、それは別としても、代々の保健福祉事務所長、それから、県の衛生部長から始まり、代々の部長、課長、所長が本会で大変お世話になりまして、本当にありがとうございました。</p> <p>個々の職員に報告できるかどうか分かりませんが、まず、私が代々の職員を代表して、皆様方のご協力に感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>また、平成 22 年に協定書が出来て、県はその立ち合い人という事になったわけですが、佐久総合病院再構築について、色々な経過の中で、今日に至ったという事を、非常に大きな意義があると思っています。その懇話会がこういう形で区切りをつけたという事は、これと同時に、長野県にとっても、大きな区切りになったのではないかと思います。重ね重ねで申し訳ございませんが、これまでの皆様方のご協力に感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。</p>
小林部長	以上を持ちまして、本日の懇話会を閉会させていただきます。皆様、お気を付けてお帰り頂きますよう、お願いいたします。大変、ありがとうございました。

会議録署名人

牧島 昌 昌 

---

伊 澤 敏 